

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	13	-	3	事務事業名	地域公共交通活性化協議会事務	細事務事業名	地域公共交通活性化協議会事務	公的関与	3	シート作成日	平成31年6月13日						
	課名	危機管理課			グループ	交通防犯		担当課長名	伊藤 淳人		シート作成者名	岡田 正光						
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業						<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ				実施計画		事業の開始・終了									
		施策項目	道路・交通網の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
		主要施策	コミュニティバスの充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等									
	個別計画																	
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
		市民				<p>通学・通勤・通院・買物など市民生活のための利便性を向上させます。                  公共交通空白地帯の解消を図ります。                  高齢者等移動制約者の交通手段を確保し、社会参加機会の支援をします。                  コミュニティバスの利用促進を行い、温室効果ガスの排出削減、環境負荷の軽減により、環境にやさしいまちづくりを推進します。</p>												
事業の内容	昼間は総合福祉センターを拠点に、朝夕は弥富・佐古木駅を拠点とし、コミュニティバス5台にて、日曜・祝日・年末年始を除いて毎日運行します。 (北部・南部・東部ルート)																	
成果指標	①	指標名	バス乗車人数						②	指標名	1便当たりのバス利用者人数							
		指標設定の考え方	年間バス乗車人数				単位	人		指標設定の考え方	1便当たりのバス利用者人数				単位	人		
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度		目標平成 30 年度								
		実績	78882	実績	80708	目標	※	目標		100000	実績	8.9	実績	9.2	目標	※	目標	10
		目標	80000	目標	※	目標	※	目標		100000	目標	9	目標	※	目標	※	目標	10
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	交通安全対策費			
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額						
		国・県支出金		6,145 千円				5,423 千円				千円						
		地方債		千円				千円				千円						
		その他特定財源		千円				千円				千円						
		一般財源		81,120 千円				86,419 千円				千円						
	計(A)		87,265 千円				91,842 千円				0 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.400 人				0.400 人				人						
				2,760 千円				2,760 千円				0 千円						
		臨時職員工数・経費		0.384 人		614 千円		0.384 人		614 千円		人		0 千円				
全体事業費(A+B)		90,639 千円				95,216 千円				0 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	少子高齢化が進展する中、高齢者や運転免許証を持たない移動制約者等の移手段の確保、公共交通空白地域の解消のため、コミュニティバスの運行は必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>
有効性	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	市民生活の利便性の向上、地球温暖化の防止、高齢者の外出機会の確保、交通事故の減少のため、コミュニティバスの運行は有効です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
達成度	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	コミュニティバスに移行し、利用者数は、少しずつではあるが増加している。しかし、依然として総数は少なく、目標を達成できていない状況です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている				<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		
効率性	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない			<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している			<input type="radio"/>	概ね達成している			
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している			<input type="radio"/>	十分達成している			
	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	現在は、3ルートで日・祝・年末年始を除き運行を行っています。運行ルートなど運行方法の改善を行う余地があります。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	<input checked="" type="radio"/>		はい	<input type="radio"/>	いいえ	
3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	<input checked="" type="radio"/>		はい	<input type="radio"/>	いいえ	
4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>		はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
今後の方向性	3	4	2	1	B	3	4	2	1	B				
当面の課題	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	二次評価での指摘事項(部長の総括意見)					
課題解決のための改善計画	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止	令和2年度の地域公共交通網形成計画見直しに向け、アンケート調査等を実施していく必要があります。										
備考	現在は、通学・通勤・通院・買い物等市民生活の移手段の確保や公共交通空白地域の解消を目的とし、昼間は総合福祉センターを拠点に、朝夕は、弥富・佐古木駅・海南病院を拠点に運行しています。年間の総利用者は、増加していますが、より一層の市民への周知や利用促進の実施が必要です。 コミュニティバスを定着させるために、広報、ホームページ等による周知や利用促進を行うとともに、アンケートや無料お試し乗車券の配布など、バスの課題、問題点の調査検討を行います。													